

明治六年三月

新貨三錢



知新聞

第四三號



東京横山町三丁目
太田金右衛門



九例

遠近の人民互に性懐よく相通ト事理よく相達するは新聞紙の如く
あり故に西洋諸國苟も文明の名あるは地より必を新聞紙局に致
ありて國內國外を論せし九百の事務を網羅し保て奇事異聞瑣
語常談を米用して日小刊し月小刊して傳布を以て幾んど家
喻戸曉小説の概あれハ國人甚だあれを便とせしと今爰小郵便
此新報を刊行するも廣く遠近の子成我せ大ひは内お情と通し善
古今は變を知りて世に裨益あるんは成致するあり蓋し瓶水の
氷成見て天下は寒を知るべし小冊子を知るもの亦當今の子成の
一斑と窺ふべし

郵便報知新聞第四十三號 明治六年第三月

○三子出産ノ者其家困窮ニシテ滋養行届兼ハ向ハ以
來養育料トシテ一時金五円給與致シ小間地方官ニ於
テ速ニ施行致シ追テ受取方大蔵省へ可申出ハ事
右関拓府縣へ御布令アリ

○皇太后宮 皇后宮 御黛 御欽漿被瘵ハ旨被

仰出ハ事右宮内省ヨリ御布達アリ

○戊辰己巳兩歳 官軍隨行戦死ノ者各府縣ニ於テ墳
墓或ハ招魂場取設コレアル向ハ其人姓名亦籍兵戦死ノ

年月墳墓ノ箇所招魂場ノ廣狹創立ノ時日及び其祭祀
ノ方法守附ノ金穀買數等詳細取調來ル四月卅日迄ニ
可差出吉山縣陸軍大輔殿ヨリ御達アリ

○白川縣より報知

同縣下玉名郡江田村の農池田佐十形るを此當一月一
日午時中同村清原といへる所にて所持の畑を掘り宝
藏得る此夢を見とり依て直ち起立て右乃場所此堀
り試みふ一ツの石室ありて其内より武器又は鉄器
類數品を探り得たるふ付其由此縣廳に訴へ見分を受
當時右品乃取計方司法省へ伺相成し申上

○大坂府より報知管下布令

往來の者怪我病氣飢渴等小て相煩ハハ、医師へ見せ
能々双抱致遣まべ一若一歩行も不相叶時を其者の在
所承り村送りしと送り届る状又ハ迎を呼寄るも無
疎畧可取扱音兼て郡中制法にて示置ハ全く当府管
下の者同志相互の取扱小有欠処近頃他の管下乃者当
管下は於て前頭の容體は立至り小節其村方より直に
送状を添へ村継を以て送届け小向も有以て向後他管
下の者小て前頭の容體は立至り小節を村方より於て懇
小双抱を加へ其上村送をも不致する不叶向を当府廳

へ申出差圖可相受事

○上海來信云く現今天津府の造兵局にてハ銃器製造する處と日夜停まずは何れ故なる城知事長成を説く西北の甘肅省烏魯木齊の地方人民蜂起一勢ハ甚ど猖獗るはば不日ハ政府より帥を出せの備まるべしと云ふ亦天津を近來稍寒しと河中凍て氷を為し是が為し船舶も流通せざは由るなり

○群馬縣より報知小管下八十八才以上九十五人百才以上二人右の者へ祝壽金を賜りたり

○筑摩縣より報知

同縣下中山道塩尻元穢多るる者囚獄場番人相勤けるが其内高橋與太郎と云へる者勤功は依り今般等外出仕に被命たり昨春民籍へ編入ありし上は珍しくもどと雖も尚旧弊を意存する人なる耳新敷聞ゆべし古昔より人民と異ふし輕蔑せしれしも今日平民の上又坐し官給と賜るハ全く彼が精勤よりなりや雖も斯る稀有御政體よりさざれば如何程苦心するとも不及事なり 實は朝恩無量なる事独り與太郎のこゝ非だ全國彼の同黨の幸ふしと可奉報期をなすべし

○此頃開拓使に於て菓木良種を海外より購ひ得て第

坂口竹圃

一號官園を開かれり其品種は梨林檎葡萄其他桃李の類もれども凡そ一物もなくて五七十種の異品あり又る夏秋冬の三季も其実以て結べるもあはよるり

○四十一號ニ記載セシ米國新聞ノ一節

近來布蛙國人口甚だ減少シテ國威漸ク陵夷セリ先年人口検査ノ時ハ大數六万員ナリレガ當今恐クハ五万員ニ至ラズ且定律立君ノ政体ヲ施行シ王家ヲ支持スル費用ハ歳入ノ金額ニテハ不且多クレバ年々此不足ノ金額ハ唯國債ヲ益ノミニテ更ニ返濟ノ目的ナケレバ實ニ憂國君子ノ慷慨思ヒ遣ルハシ僅ニ五万員ノ人

民ヲ擁護シ一政府ヲ支持スル金額毎年大凡五十万ドルラルニ下ラズ此費ノ一部ハ唯王家ノ私用ニ属スル無益ノ華飾ニ費ス多シ去レ共人民ノ國政ヲ歎クハ唯此等ニ関ルノミニテ外ニ苛酷ヲ告訴スルナキハ全ク是迄國政ノ善ク行ハレ人民家産等ノ擁護行届キ公平ナル官吏モ許多ナルヲ以テナリ

○長野縣下齋藤某より報知

同縣下より行程一里を隔て丹波島駅に至る途に犀川と云大荒河あり四時暴洪一往來を止め行人として困苦せしむ茲は有志が集ひ船橋を架ん事以縣廳より乞

以舟五十艘伐浮べて既_レ落_レ成_ルせり

○函館より報知

北海道御用達佐野専左工門所持の宝丸船一艘此程津
軽辺より米穀其他諸荷物積込当港へ入津せし去
月廿日夜十一時頃自火ふて焼没せり尤破泊船々ハ轉
火乃患免_レきと_リ

○敦賀縣下越前國大野郡の頑民共説教乃趣意_ヲ誤解
疑惑を生ぜし_レ奸僧等煽動して終_ニ一揆の騷擾を
起し説得の官員へ手向ひるせし_レ依り當_レ七日右為鎮
撫参事其外速_ニ出_テ發_ルの由大藏省へ御届相成_レり

○印播縣下農推名浩作鈴木太郎右工門の論説

當今四方の人民次第_ニ日新の化_ニ向_フと_モ虽_モ愚夫の
蒙昧いほ_レ開_レけざる所あはる_レ皆積年の弊習_ヲ色_ニバ_レな
り先づ第一_ニ大師詣_トいへる事あり_ト三四月の間村
落黨_ヲ結_ビ類_ヲを集_メて老若男女打混_ト旗印_ヲを押_立る
が_レ高声_ニ遍_テ照_ス金剛の四字_ヲ唱_ヘ宿村の差別_ヲく_レ至
る所_ニ止_シ宿_シて其饗_ヲ受_ケ漫_リ金穀_ヲ費_スさ_レむ
又第二_ニゆる弘法の像_ヲ禮拜_シ巡村_ヲは_レと八十八ヶ所
詣_テ唱_ヘ奇怪の説_ヲと云_ヒ觸_ルて病者_ヲ迷_ハり或_ハ
徹夜念仏_ヲ唱_ヘ雜沓の紛_レ奸淫の媒_トを_レ者あり_ト第

三小念仏講といへる一樂あり民間死亡の事ある毎に
必だ一村の人を招ぎ鉦太鼓を打鳴りて男女老幼の
ひ死者を送り昼夜酒食の時改移して更に愁傷の氣色
を以て是等最由孝子順孫乃心と破りて忍びざるの悪
習あり此三ヶ条の如きは日新の開化は妨げらるるを
少くも何卒速に嚴命ありて一切此類停止せしめ度
を以たり

○新瀉縣より報知

同縣下一月中盜難に逢ひし者三十九戸捕縛の賊十五
人又管内死者埋葬の者壬申年中二万百八十七人あり

○府下富士見町往還に於て第一番中學生徒雪打り
行人を妨げし一件小付御咎筋不伏の廉辨明致度とて
文部省十等出仕伊沢修二と云へる者警保寮御理解よ
承伏不致却て御國律に彼是誹詰致し不敬の答書差出
たる咎とて違制律に官吏公罪例に依り曉罪金十円司
法省より被仰付たり

○白露國全權公使令般日本政府と條約取結として來
港せり別異しむあし右本月七日同國の人民
支那貧民公船へ買入横濱港へ立寄り其節支那人乃儀
に付我政府より大に御手数數相掛り右の事件より今

度條約取結相なるより

○府下浅草富坂町吉藏店輕業師松井芳五郎并同人家族其外同業の者都合十六人英國人「キーン」俱々去ル已年十月中横濱出帆香港より印度地方へ渡り輕業與行致し此日耳曼迄至りしが昨五月中カラマふく前書英人并磯吉と申を以郵船へ先乗致と告むと旅宿を立出其終行衛不相分芳五郎ハ最早歸國の手當も無之當惑の餘り同行の者申合せ業前を以て處々立廻り漸く便宜を得くロンドニ府へ到着し寺島辨務使へ歎願るし百五ポンドを拝借し昨八月中帆前船に乘組今年二月

十五日横濱へ安着しより同縣廳へ申立しり

○濱田縣ヨリ脱穿人暴行ノ儀ニ付大藏省へ御届概畧去二月廿八日當管下迹摩郡仁万村石川栄吉外三人脱穿致レ那賀郡松原浦ノ高小川編助方へ押入刀三口ヲ強奪シ其終抜刀ニテ郎内所ヲ乱妨及ビ刺へ大森町左官職影平恵助へ重傷ヲ為負逃去ハニ付嚴重手配致ハ外処右ノ内栄吉ハ町家へ逃込自刃致シ得共未ダ死去不致改五郎外二人ハ召捕相成國松ハ行衛穿鑿中ニ御坐ハ云々

○柏崎縣管内昨暮より薄雪をりしが一月廿日頃より

追々降積り現今屬下平地三尺位山入村々るこも一倍増のヶ所ありとぞ

○今般人民輻輳の地從前御高外の除地公有地の類を公園と定められ府下淺草金龍山芝増上寺上野東叡山深川八幡社隅田川梅若社音羽護國寺内藤新宿熱野十ニ社飛鳥山寺をして永く人民觀樂の地と為し右修補の入費を始め後來永続の方法御取調べ相成よ
○正誤第卅六号末陸中郡山より來書中一一金一円一白米三斗位とる二戸郡北郡の價もり
報知新聞第四十三號 終

今般郵便報知新聞刊行の旨趣は速く隔る國々其物情を互にお通せしめ且府下小生する細大を實各地へ相知りしめんとを依るを存す其後亦存申善行の賞譽を暴徒に捕縛機械産物の新著の藝緑織物漆器陶器米穀桑茶其他の漆品製造耕作の多寡並凶震雷雨風水火の災難を暖氣候に連ひて少くも其多きを皆夫々に著記して町文藝虚飾を加へて時々代載て是を讀み若見く及んば賣弘所小返り越し給はん事成希

一郵便報知新聞一冊價銀貨三錢毎月五号宛出ぬ
當時發兌号ヨリ先廿冊分引受做向を一割引

同四十冊分ハ一割半引
一ヶ年分引請の向ハ二割引

右之通割分お定ま金郵便賃法取候は年費其先順方とて送る郵便は其は在可自倍

東京横山町三丁目

發兌人 太田金右衛門

